

# TRAIL

## いわき市の経済・景気の動き

経済・景気動向調査報告「トレイル」  
第93号 6月16日発行

いわき市産業振興部

### 【全国景気動向】“緩やかな回復”を据え置き！ 先行きは、中東情勢の影響と金融市場の変動の影響に注意が必要！

● R8年第1Q（四半期）の実質GDP（1次速報値\*。5/19）は、前期比0.5%増（年率2.1増）と2Q連続でプラス。自動車輸出の回復が寄与した。

<参考>R7年GDPは、名目が実額で670兆円と5年連続で過去最高を更新、前年比は4.2%増と5年連続でプラス成長となった。実質GDPは前年比0.8%増。

区分	前期	今期
GDP(実質)	0.2	0.5
(年率換算)	(0.8)	(2.1)
個人消費	0.0	0.3
住宅投資	5.0	0.5
設備投資	1.4	0.3
政府消費	0.4	0.1
公共投資	▲0.2	1.4
輸出	0.2	1.7
輸入	▲0.0	0.5

(注) 前期は確定値。

\*2次改定(6/8)では0.5増(年率1.8増に下方修正。最新統計を反映し、設備投資が下振れした。

● 「月例経済報告(5月)」の基調判断(5/26)は、“緩やかに回復”との表現を3か月連続据え置いた。R8年1-3月期の実質GDPが、前期比年率換算で2.1%増と堅調だったことを踏まえた。

先行きは、消費者マインドが足元で弱い動きとなっていることと、中東情勢の影響と金融市場の変動の影響などに注意する必要があることをあげた。

基調判断	穏やかに回復
個人消費	持ち直しの動き
設備投資	持ち直し
住宅投資	弱含み
輸出	おおむね横ばい
輸入	おおむね横ばい
生産	横ばい
企業収益	中東情勢の影響の注視が必要
雇用情勢	改善の動き
消費者物価	穏やかに上昇

先行き 中東情勢の影響を注視する必要。金融市場の変動に注意する必要。

注：太字は対前月で修正された内

### 目次

【全国景気動向】“緩やかな回復”を据え置き！ 先行きは、中東情勢の影響と金融市場の変動の影響に注意が必要！

【いわき市景気動向】今期は、“弱含み”の傾向がより強まっている！ 先行きは、中東情勢による影響が不安材料となっている！

【経済・景気四方山話】全国5件、いわき発1件

I 経済・景気調査：令和8年第1四半期(1~3月)

1. 経済の動き(主要部別・主要経済データ) . . . . . 4
2. 景気の動き(景気動向指数) . . . . . 10

【参考】- 景気動向指数の内容 - 国・県の動き

II 景気ウォッチャー調査：令和8年5月時点 . . . . . 17

### 【いわき市景気動向】今期は、“弱含み”の傾向がより強まっている！ 先行きは、中東情勢による影響が不安材料となっている！

今期は、大型小売店舗以外の部門が不振ないしは下落しており、“弱含み”の傾向がより強まった。この傾向を「景気ウォッチャー調査」(R8/5)が如実に反映し、現状判断DIおよび先行判断DIのほとんどマイナスとなった。

#### ● 経済・景気調査

【需要動向】増加に転じた大型小売店舗と微増の観光施設利用者以外の項目すべてがマイナスで、景気けん引役不在の状況にある。

【企業動向】卸売市場取扱、輸入通関実績が若干増加、代位弁済が減少(プラスに寄与)しているが、全体としては低調な状態が続いている。

#### 【雇用動向】

新規求人倍率は微減、有効求人倍率は横ばいで、雇用情勢は低調。

#### ● 景気ウォッチャー調査(令和8年5月)

【現状DI】の全業種の前回差はマイナス(構成各項目もすべてマイナス)、また【先行きDI】の全業種も同じくマイナス(住宅以外の構成各項目もマイナス)となった。その多く理由は、中東情勢

いわき市の動向(R8/1-3月)

区分	前期%	今期%
個人		
大型店舗販売	▲0.1	8.4
自動車登録	▲4.9	▲3.9
建築		
新設住宅	58.8	▲35.8
公共工事	10.9	▲58.6
観光施設利用者	8.2	1.9
企業		
卸売市場取扱	0.8	2.4
輸入通関実績	▲16.9	5.8
協会代位弁済	96.3	18.2
法人市民税	15.1	▲8.3
企業倒産件数	6件	4件
雇用		
新規求人倍率	1.71倍	1.62倍
有効求人倍率	1.10倍	1.12倍

(注)前年同期比。企業倒産件数は各期の合計。雇用はR8/1月とR8/3月時点。

景気ウォッチャー調査抜粋(R8/5)

	現状判断DI		先行判断DI	
	今回	対差	今回	対差
全業種	34.1	▲5.2	34.1	▲11.8
家計	37.5	▲4.3	37.5	▲12.0
小売	33.7	▲4.3	35.6	▲11.4
飲食	50.0	▲8.3	33.3	▲25.0
サービス	39.6	▲0.8	39.6	▲14.2
住宅	37.5	▲7.5	43.8	3.8
企業	25.0	0.0	22.5	▲5.6
雇用	21.4	▲16.1	25.0	▲12.5

への不安である。以上を反映し、【自由意見】は、①中東情勢・原油問題にかかる先行き不安、②物価高・原材料高騰による経営圧迫等に関するものなど、かつてないほど多くの意見が寄せられた。

(産業チャレンジ課)

## 【経済・景気四方山記事】

(原情報の要約・意訳、筆者の解釈・所感等)

### ● まちづくり関連法改正案、閣議決定

#### ー まとめてリノベーションが可能に！

3/10、まちづくり関連法の改正案が閣議決定された。改正案は、人口減少や地方の魅力不足に対応し、都市機能の集積や地域の歴史・文化を活かしたまちづくりを推進することを目的とする。

具体的には①都市機能の更なる集積・連携に地域活性化、②地域の歴史・文化や景観・環境に根ざすまちづくりの推進、③官民連携による適切なマネジメントを通じた地域の付加価値の維持・向上、④都市の安全確保である。法改正が実現すれば 26 年内にも施行される。(26/3/11 日経)

### ● “知識経済”で開く、持続的成長の道！

「知識経済の形成」(ジョエル・モキア教授著)の中で、経済発展は“知識”にある。この知識には、①命題的知識(観察や測定規則性や原理原則に関する知識)と②指図的知識(命題的知識を普及や応用するための知識)があり、経済成長をさせるものは、制度や文化や貯蓄率ではなく、①と②との相互作用である、と説く。

わが国には①と②で秀でた人材が少ない。例えば再生医療の山中伸弥氏、ノーベル生理学・医学賞の坂口志文氏、分子免疫学の谷口維紹氏は両知識にまたがる秀でた人材である。今後、①と②の相互作用を高め、“知識経済”を軌道に乗せれば、持続的経済成長の道が開かれる。こう見れば、わが国の成長にまだまだ余地がある。(26/3/19 “大機小機”日経)

### ● “汚泥+クマムシ”で肥料原料

#### ー 安定供給・循環社会の両立

国内最大級の処理施設である下水道処理場「荒川水循環センター」(埼玉県下 5 市の下水道)で、汚泥からリン酸肥料原料“荒川クマムシくん 1 号”を作るシステムが開発された。

肥料の主原料であるリンは中国等からの輸入に依存しており、安定調達に課題がある。汚泥にリン酸を多く含むことに着目し、クマムシ等の微生物を使い、菌体リン酸肥(愛称“荒川クマムシくん”)を製造する。これを混ぜるだけで製造プロセスは、従来の下水道処理と同じ。この“クマムシくん”を他の原料に混合を混合すれば既存肥料に引けを取らない肥料ができる。これまで下水道汚泥は、焼却してセメント原料にしてきたが、上記の肥料化が軌道

に乗れば、リンの安定調達と家庭と畑を結ぶ循環するサイクルが可能になる。(26/4/17 日経)

### ● 求められる事業継続のありかた！

近年、中堅・中小企業で経営者の高齢化による後継者不足が深刻な課題となっている。背景には、相続税・贈与税の負担や担保・債務等を引継ぐことの難しさ、後継者育成に時間・労力がかかる、後継者に対する取引先の信頼確保の難しさなどがある。

今後は、国内の企業数は徐々に減少していく中で、事業縮小は、生産性の低い企業の退出を促し、生産性の高い企業を育成する、という視点が不可欠である。これまで一定の収益を上げていた企業であっても、従来のビジネスモデルに満足するのではなく、より高みを目指し事業継続を実現する姿勢が重要である。このように事業継承は、新しい経営者が新たなビジネスモデルに挑戦する格好の機会ととらえるべきである。(26/4/22 “大機小機”日経)

### ● “子育てのしやすさ”が上昇！

子育て環境が好転している。「郵送世論調査」\*によれば、“子育てのしやすさ”について、100 点満点中 80 点満足しているとの回答が、昨年より大幅に上昇して 21%となり、“子育てのしやすさ”に関する評価が上がっている。

また“子育てのしやすさに必要なこと”は、①手当や税制優遇等経済支援、②時短勤務等職場の支援制度、③保育園等の環境、④社会の理解、⑤家族の積極的な育児参加の順となった。

さらに、“家庭での育児・子育ての望ましい役割分担”は、“夫も妻も同じように行う”が調査を始めてから最多となった。(26/5/2 日経)

\* 「数字で見るリアル世論：郵送調査 2025」(株日経リサーチ)の一部。無作為抽出の全国 1518 人が対象(回答率 50.6%)。25 年 10-12 月実施。調査分野は、①景気・暮らし、②働き方・社会保障、③ネット、④モノとサービス、⑤マネー、⑥政治・外交、⑦社会・科学技術。

### ●【いわき発】ビジネスの加速と拠点づくりを支援

#### ー “オフィス立地促進事業”がスタート

いわき市では、令和 8 年 5 月から、市内外の事業を対象として“オフィス立地促進事業”をスタートさせた。市内に新たにオフィスを開設する場合などで、対象業種、対象経費、従業員の雇用などの要件に適合すれば、最大で 300 万円の補助を受けることが出来る。

これにより、より魅力的かつ大要な雇用の場の創出や、スタートアップの促進につながる事が期待される。

東日本国際大学名誉教授 大川信行

## 目 次

I 経済・景気調査：令和8年第 I 四半期（1～3月）	
1 いわき市の経済の動き	4
（1）主要部門の動向	4
（2）主要経済データ	6
2 いわき市の景気の動き（景気動向指数）	10
（1）C I（コンポジット・インデックス）	10
（2）D I（ディフュージョン・インデックス）	13
－ 景気動向指数利用の手引き －	14
【参考】 国・県の動き	16
II いわき市景気ウォッチャー調査：令和8年5月時点	
1 景気の現状について	17
（1）現状判断DI	17
（2）現状判断の理由	17
2 景気の先行きについて	18
（1）先行き判断DI	18
（2）先行き判断の理由	18
3 市内景気に関する自由意見	19
－ いわき市景気ウォッチャー調査の概要 －	21

### 利 用 上 の 注 意

- 1) 統計データの一部は速報値を用いており、確報の段階で修正される場合があるため、前回発表の数値と相違することがあります。
- 2) 小数点処理のため係数が完全に一致しない場合があります。
- 3) 景気動向指数の各系列の計数のうち、米国センサス局法等により独自の季節調整を行っているものは、データを追加するごとに季節調整要因が変化するために遡及して値が変わることがあります。

【問い合わせ先】  
福島県いわき市平字梅本21  
いわき市産業チャレンジ課  
TEL:0246-22-7476

# I 経済・景気調査：令和8年第 I 四半期（1～3月）

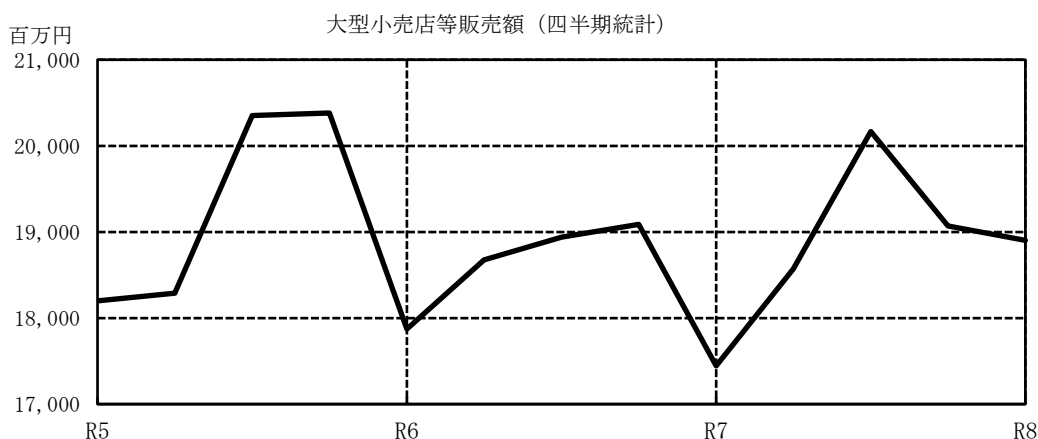
## 1 いわき市の経済の動き

### （1）主要部門の動向（令和8年第 I 四半期（1～3月）の状況）

#### ① 需要動向

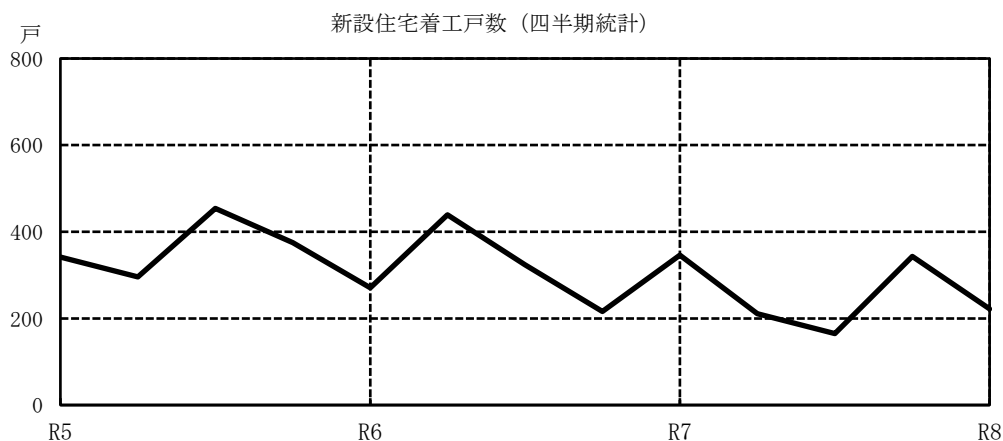
【個人消費】 ○ 第 I 四半期（1～3月）の大型小売店等販売額は約189億円（前年同期比8.4%の増加）となり、2四半期振りに前年の水準を上回った。

○ 自動車新規登録台数は4,431台（前年同期比3.9%の減少）となり、3四半期連続で前年の水準を下回った。



【建設需要】 ○ 新設住宅着工戸数は222戸（前年同期比35.8%の減少）となり、2四半期振りに前年の水準を下回った。

○ 公共工事等受注額は約100.0億円（前年同期比58.6%の減少）となり、3四半期振りに前年の水準を下回った。

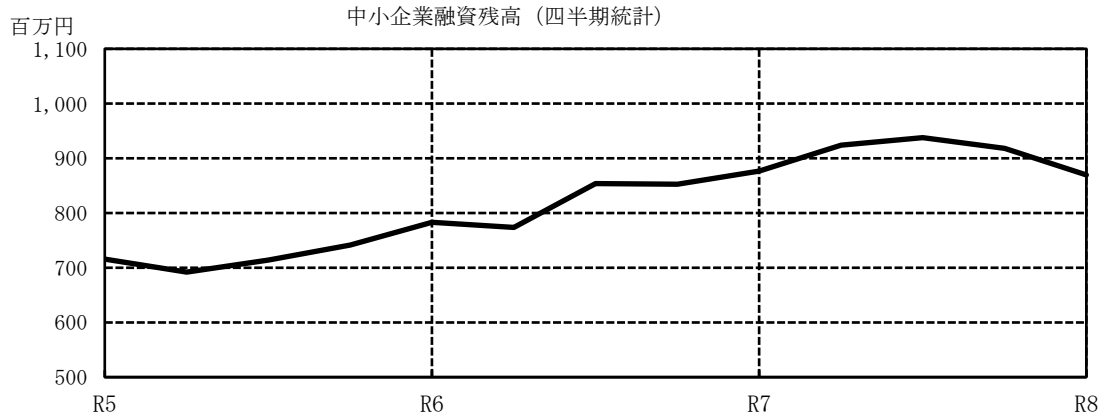


【観光需要】 ○ 観光施設利用者指数は、71.2（前年同期比1.9%の上昇）となり、5四半期連続で前年の水準を上回った。

## ② 企業動向

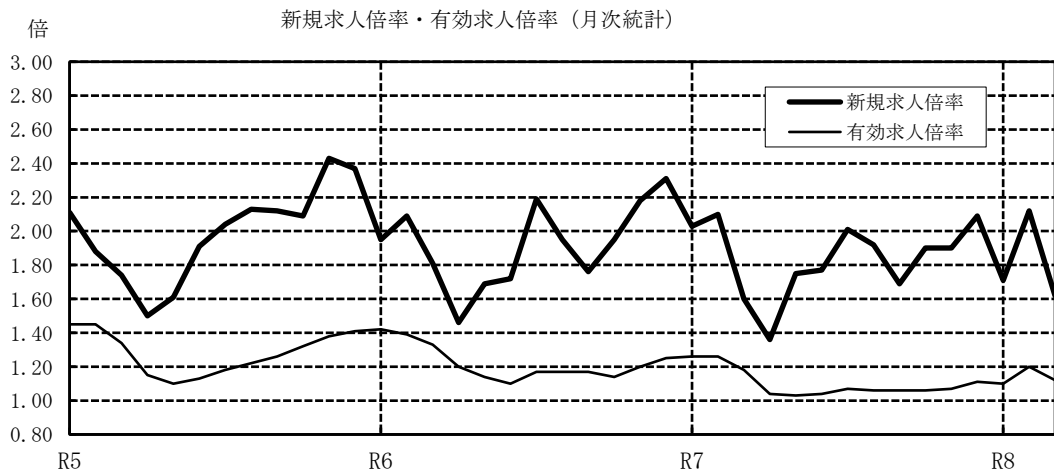
○ 第 I 四半期（1～3月）のいわき市中央卸売市場取扱高は約34.4億円（前年同期比2.4%の増加）となり、4四半期連続で前年の水準を上回った。

- 【企業活動】**
- いわき市中小企業融資残高は約8.7億円（前年同期比0.8%の減少）となり、令和4年第1四半期以降、16四半期振りに前年の水準を下回った。
  - 負債1千万円以上の企業倒産件数は4件（前年同期比20.0%の減少）となった。



## ③ 雇用情勢

- 【雇 用】**
- 3月の新規求人倍率は1.62倍（前年同月より0.02ポイントの上昇）となり、2ヵ月連続で前年の水準を上回った。
  - 3月の有効求人倍率は1.12倍（前年同月より0.06ポイントの低下）となり、22ヵ月連続で前年の水準を下回った。
  - 第 I 四半期（1～3月）の雇用保険受給者実人員は3,517人（前年同期比14.6%の増加）となり、4四半期連続で前年の水準を上回った。



(2) 主要経済データ

区分	需要動向													
	個人消費				建設需要						観光需要			
	大型小売店等販売額	前年同期比	自動車新規登録台数	前年同期比	新設住宅着工戸数	前年同期比	建築確認申請受付件数	前年同期比	公共工事等受注額	前年同期比	観光施設利用者指数	前年同期比	入湯税調定人員	前年同期比
年月	(百万円)	(%)	(台)	(%)	(戸)	(%)	(件)	(%)	(百万円)	(%)	(H24・四半期平均=100)	(%)	(人)	(%)
【年次統計】														
令和3年	75,051	-2.5	16,318	-9.9	1,911	-4.5	1,077	8.2	87,871	85.0	177	-9.2	301,384	-16.3
令和4年	74,755	-0.4	15,143	-7.2	1,973	3.2	1,176	9.2	34,321	-60.9	271	53.1	407,735	35.3
令和5年	77,220	3.3	17,639	16.5	1,467	-25.6	1,310	11.4	25,367	-26.1	352	30.1	548,789	34.6
令和6年	74,574	-3.4	15,616	-11.5	1,250	-14.8	1,344	2.6	28,591	12.7	344	-2.5	550,533	0.3
令和7年	75,247	0.9	15,765	1.0	1,065	-14.8	1,145	-14.8	41,482	45.1	353	2.8	549,328	-0.2
【四半期統計】														
令和6年 II	18,675	2.1	3,433	-12.8	439	48.3	354	-0.8	7,461	19.7	75.5	6.8	126,066	3.2
III	18,939	-6.9	4,232	2.9	324	-28.6	359	-6.8	9,004	23.2	120.8	9.7	147,307	5.2
IV	19,088	-6.3	3,939	-12.3	216	-42.4	317	-3.1	4,054	-51.8	78.7	-28.5	145,574	1.2
令和7年 I	17,444	-2.4	4,612	15.0	346	27.7	335	6.7	24,131	199.0	69.9	1.6	127,397	-3.2
II	18,570	-0.6	3,583	4.4	211	-51.9	232	-34.5	3,765	-49.5	77.0	2.0	132,005	4.7
III	20,164	6.5	3,825	-9.6	165	-49.1	309	-13.9	9,090	1.0	121.2	0.4	148,648	0.9
IV	19,069	-0.1	3,745	-4.9	343	58.8	269	-15.1	4,496	10.9	85.2	8.2	141,278	-3.0
令和8年 I	18,902	8.4	4,431	-3.9	222	-35.8	252	-24.8	9,996	-58.6	71.2	1.9	124,647	-2.2
【月次統計】														
令和6年4月	6,086	0.5	1,124	-13.0	174	100.0	124	21.6	1,418	14.9	22.1	9.9	52,099	14.2
5月	6,318	1.3	1,076	-12.8	126	90.9	129	14.2	1,265	157.6	28.9	-0.9	38,612	3.3
6月	6,271	4.6	1,233	-12.5	139	-2.8	101	-28.9	4,778	5.9	24.4	14.4	35,355	-9.8
7月	6,186	-9.2	1,479	12.5	81	-34.1	126	-13.7	2,918	5.1	31.9	7.5	41,179	11.6
8月	6,848	-4.2	1,152	-2.0	119	0.0	123	-7.5	1,905	28.8	57.7	5.3	45,341	11.6
9月	5,905	-7.7	1,601	-1.4	124	-41.5	110	3.8	4,182	37.0	31.2	21.8	60,787	-2.7
10月	5,923	-7.0	1,431	-13.0	47	-57.3	118	7.3	2,355	-50.4	26.9	-9.4	46,815	-0.2
11月	5,821	-4.8	1,402	-11.5	87	-42.0	103	-14.2	1,102	-46.2	27.1	-50.6	50,690	2.0
12月	7,344	-7.0	1,106	-12.4	82	-28.7	96	-1.0	598	-63.0	24.7	-3.5	48,069	1.6
令和7年1月	5,716	-3.8	1,367	13.6	76	-17.4	109	18.5	226	-85.8	22.5	5.3	43,430	0.9
2月	5,510	-4.0	1,452	22.6	110	31.0	105	7.1	535	39.7	20.3	-1.0	38,208	-4.8
3月	6,218	0.5	1,793	10.3	160	68.4	121	-2.4	23,370	283.5	27.1	0.7	45,759	-5.4
4月	6,001	-1.4	1,117	-0.6	84	-51.7	65	-47.6	1,642	15.8	21.6	-2.3	50,504	-3.1
5月	6,254	-1.0	1,138	5.8	40	-68.3	73	-43.4	799	-36.9	30.1	4.0	41,623	7.8
6月	6,315	0.7	1,328	7.7	87	-37.4	94	-6.9	1,324	-72.3	25.3	3.6	39,878	12.8
7月	6,668	7.8	1,343	-9.2	37	-54.3	100	-20.6	3,911	34.0	30.7	-3.8	40,791	-0.9
8月	7,265	6.1	1,023	-11.2	48	-59.7	85	-30.9	1,101	-42.2	58.6	1.7	46,174	1.8
9月	6,231	5.5	1,459	-8.9	80	-35.5	124	12.7	4,079	-2.5	31.9	2.1	61,683	1.5
10月	5,850	-1.2	1,412	-1.3	151	221.3	109	-7.6	2,909	23.5	28.6	6.2	45,449	-2.9
11月	5,970	2.6	1,178	-16.0	136	56.3	80	-22.3	787	-28.6	29.3	8.3	47,746	-5.8
12月	7,249	-1.3	1,155	4.4	56	-31.7	80	-16.7	801	33.8	27.3	10.4	48,083	0.0
令和8年1月	6,394	11.9	1,301	-4.8	40	-47.4	99	-9.2	787	248.1	22.9	1.9	46,448	6.9
2月	5,940	7.8	1,378	-5.1	74	-32.7	66	-37.1	2,966	454.4	20.2	-0.7	39,686	3.9
3月	6,569	5.6	1,752	-2.3	108	-32.5	87	-28.1	6,244	-73.3	28.1	3.8	38,513	-15.8
出典:	いわき市産業 チャレンジ課		いわき自動車検査登 録事務所、全国軽自 動車協会連合会いわ き支所		県土木部		市建築指導課		いわき市建設業協 同組合、(社)福島 県建設業協会いわ き支所		いわき市産業 チャレンジ課(市内 主要観光施設 の利用者数を 指数化)		いわき市市民 税課	

(注) ーは「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。  
四半期統計においてIは1～3月、IIは4～6月、IIIは7月～9月、IVは10～12月を示す。

区 分	企業動向													
	生産活動				企業活動									
	いわき市 中央卸売 市場取扱 高		小名浜港 輸入通関 実績		いわき 市中小 企業融 資残高		いわき 市中小 企業融 資利率		信用保 証承諾 額		信用保 証協会 代位弁 済		法人市 民税調 定額	
	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同月比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比
年 月	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(%)	(%p)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
【年次統計】														
令和3年	13,930	2.8	355,137	10.4	593	-24.1	2.06	-0.1	37,047	-45.5	220	-60.7	3,312	-21.1
令和4年	14,883	6.8	624,189	75.8	622	5.0	1.77	-0.3	21,406	-42.2	738	234.8	3,577	8.0
令和5年	16,040	7.8	530,374	-15.0	716	15.0	1.62	-0.2	26,677	24.6	932	26.3	3,359	-6.1
令和6年	14,866	-7.3	519,144	-2.1	816	14.0	2.00	0.4	25,846	-3.1	1,675	79.8	3,298	-1.8
令和7年	15,459	4.0	495,488	-4.6	914	12.0	1.96	0.0	25,453	-1.5	1,862	11.2	3,516	6.6
【四半期統計】														
令和6年 II	3,442	-8.0	145,149	8.7	774	11.8	1.98	0.77	6,120	27.1	254	117.3	1,060	7.6
III	3,302	-17.7	138,088	-1.6	854	19.6	1.90	-0.09	6,803	-1.5	612	140.1	900	5.0
IV	4,682	-3.3	130,916	26.5	853	15.0	2.16	0.88	6,654	3.2	475	41.1	886	-12.8
令和7年 I	3,360	-2.3	127,219	21.2	877	12.0	1.74	-0.22	5,864	-6.5	385	15.3	599	32.6
II	3,495	1.6	124,096	-14.5	924	19.4	1.97	-0.01	6,628	8.3	259	1.9	926	-12.6
III	3,883	17.6	135,405	-1.9	938	9.8	1.99	0.09	6,119	-10.1	285	-53.4	969	7.8
IV	4,720	0.8	108,769	-16.9	918	7.7	2.14	-0.01	6,843	2.8	933	96.3	1,020	15.1
令和8年 I	3,442	2.4	134,616	5.8	870	-0.8	2.16	0.41	6,530	11.4	455	18.2	550	-8.3
【月次統計】														
令和6年4月	1,210	-0.6	54,637	40.5	755	7.7	1.89	0.86	1,412	26.6	56	7,180.1	157	3.9
5月	1,157	-8.2	39,120	-17.1	771	11.2	2.20	0.65	1,840	11.2	60	-48.2	310	2.0
6月	1,075	-14.9	51,392	8.1	794	16.7	1.86	0.81	2,867	40.3	138	-	594	11.9
7月	1,252	-9.0	46,180	7.9	850	25.2	2.05	-0.05	2,653	-5.2	448	108.3	440	10.1
8月	868	-34.9	48,594	13.8	857	22.0	2.20	0.25	1,651	-29.5	133	305.2	350	-5.6
9月	1,182	-9.2	43,314	-21.1	855	12.5	1.44	-0.48	2,499	41.7	31	341.7	110	27.3
10月	1,195	-8.3	51,063	156.0	857	14.2	2.20	0.70	2,190	17.6	179	13.3	112	-18.7
11月	1,336	0.1	37,802	13.7	857	17.3	2.20	0.93	1,996	27.6	103	-30.4	689	-13.0
12月	2,151	-2.5	42,051	-16.3	843	13.5	2.07	1.02	2,467	-18.4	193	539.4	85	-1.5
令和7年1月	1,078	3.9	52,449	49.8	863	9.7	1.64	-0.06	1,660	-6.6	41	-81.1	105	1.4
2月	1,077	-7.9	37,805	33.4	856	10.3	1.64	-0.36	2,115	4.1	200	119.3	116	-6.2
3月	1,205	-2.2	36,965	-11.2	911	15.8	1.96	-0.24	2,088	-15.1	144	467.6	378	68.3
4月	1,167	-3.5	40,659	-25.6	905	19.8	2.20	0.32	1,580	11.8	205	266.6	104	-33.3
5月	1,210	4.5	37,442	-4.3	926	20.1	1.63	-0.58	2,203	19.7	3	-95.5	253	-18.4
6月	1,119	4.1	45,994	-10.5	941	18.5	2.08	0.22	2,845	-0.8	51	-62.8	569	-4.1
7月	1,307	4.4	43,584	-5.6	944	11.1	2.14	0.09	1,809	-31.8	225	-49.7	481	9.3
8月	1,335	53.8	32,765	-32.6	919	7.2	2.14	-0.06	1,834	11.1	33	-75.2	398	13.8
9月	1,240	5.0	59,056	36.3	950	11.2	1.65	0.21	2,476	-0.9	27	-13.1	90	-17.9
10月	1,222	2.3	44,385	-13.1	932	8.8	2.03	-0.18	1,658	-24.3	460	156.6	117	4.6
11月	1,287	-3.6	33,302	-11.9	903	5.4	2.20	0.00	2,286	14.5	212	105.3	792	15.0
12月	2,210	2.7	31,082	-26.1	918	8.9	2.20	0.13	2,899	17.5	260	35.2	111	30.8
令和8年1月	1,125	4.4	59,388	13.2	891	3.3	2.07	0.43	1,588	-4.3	211	415.1	127	21.1
2月	1,080	0.2	32,974	-12.8	874	2.1	2.20	0.56	1,925	-9.0	112	-43.9	165	41.9
3月	1,237	2.7	42,254	14.3	843	-7.4	2.20	0.24	3,016	44.4	132	-8.8	258	-31.9
出典：	いわき市卸売 市場（水産）	財務省貿易統計		いわき市産業マレヅ課（年次 統計は12カ月の平均値、四半 期統計は3カ月の平均値） ”-”は実績なし。実績ない月 は平均値算出から除く。				福島県信用保証協会				いわき市市民 税課（法人税 割）		

(注) -は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。  
四半期統計においてIは1～3月、IIは4～6月、IIIは7～9月、IVは10～12月を示す。

区 分	企業動向									
	倒産				中小企業DI調査					
	企業倒産件数		企業倒産負債総額		製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	総合(全業種)
	前年同期比	前年同期比	前年同期比	前年同期比						
年月	(件)	(%)	(百万円)	(%)						
【年次統計】										
令和3年	10	-28.6	1,375	15.9	-	-	-	-	-	-
令和4年	13	30.0	1,714	24.7	-	-	-	-	-	-
令和5年	16	23.1	4,649	171.2	-	-	-	-	-	-
令和6年	31	93.8	5,110	9.9	-	-	-	-	-	-
令和7年	22	-29.0	1,818	-64.4	-	-	-	-	-	-
【四半期統計】										
令和6年 II	7	40.0	1,982	-31.0	-	-	-	-	-	-
III	10	400.0	1,081	555.2	-	-	-	-	-	-
IV	6	0.0	567	-62.6	-	-	-	-	-	-
令和7年 I	5	-37.5	395	-73.3	-	-	-	-	-	-
II	6	-14.3	339	-82.9	-	-	-	-	-	-
III	5	-50.0	679	-37.2	-	-	-	-	-	-
IV	6	0.0	405	-28.6	-	-	-	-	-	-
令和8年 I	4	-20.0	807	104.3	-	-	-	-	-	-
【月次統計】										
令和6年4月	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
5月	5	-	1,390	-	-	-	-	-	-	-
6月	2	-60.0	592	-79.4	-18.7	-44.5	0.0	-11.1	-14.3	-17.7
7月	3	200.0	129	760.0	-	-	-	-	-	-
8月	1	0.0	60	-60.0	-	-	-	-	-	-
9月	6	-	892	-	-6.5	0.0	-15.4	0.0	-11.1	-7.2
10月	3	50.0	321	18.9	-	-	-	-	-	-
11月	3	0.0	246	-52.3	-	-	-	-	-	-
12月	0	-100.0	0	-100.0	-14.8	-11.1	-16.6	-12.5	0.0	-12.3
令和7年1月	2	-33.3	243	-24.1	-	-	-	-	-	-
2月	3	-25.0	152	-76.6	-	-	-	-	-	-
3月	0	-100.0	0	-100.0	-25.0	-25.0	-14.3	-27.3	-10.0	-21.3
4月	1	-	130	-	-	-	-	-	-	-
5月	1	-80.0	54	-96.1	-	-	-	-	-	-
6月	4	100.0	155	-73.8	-28.1	-50.0	-30.8	-20.0	-22.2	-29.7
7月	3	0.0	42	-67.4	-	-	-	-	-	-
8月	1	0.0	71	18.3	-	-	-	-	-	-
9月	1	-83.3	566	-36.5	-22.2	-50.0	-22.2	-27.3	-11.1	-25.0
10月	1	-66.7	10	-96.9	-	-	-	-	-	-
11月	2	-33.3	39	-84.1	-	-	-	-	-	-
12月	3	-	356	-	-3.2	-37.5	-33.3	-70.0	-44.4	-27.1
令和8年1月	2	0.0	489	101.2	-	-	-	-	-	-
2月	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	-	-
3月	2	-	318	-	-6.1	-22.2	-16.6	-33.3	-22.2	-15.7
出典：	東京商工リサーチ（負債総額1,000万円以上）				福島県産業振興センター(前年同月比で「良化」-「悪化」社数構成比(各月末時点)) 平成17年4月以降3ヵ月毎に調査					

(注) ーは「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。  
四半期統計において I は1～3月、II は4～6月、III は7月～9月、IV は10～12月を示す。

区 分	雇 用						そ の 他						
	新規 求人 倍率		有効 求人 倍率		雇用保 険受給 者実人 員		高速道 路出入 交通量		いわき市景気ウォッチャー調査(先行きD I)				
	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	家計動向	企業動向	雇用関連	総合		
年 月	(倍)	(%p)	(倍)	(%p)	(人)	(%)	(千台)	(%)					
【年次統計】													
令和3年	1.99	0.08	1.29	-0.04	14,808	-6.4	7,427	-4.3	-	-	-	-	-
令和4年	2.02	0.03	1.31	0.03	14,068	-5.0	7,855	5.8	-	-	-	-	-
令和5年	1.97	-0.05	1.27	-0.04	13,914	-1.1	8,331	6.1	-	-	-	-	-
令和6年	1.88	-0.09	1.18	-0.09	13,340	-4.1	8,626	3.5	-	-	-	-	-
令和7年	1.79	-0.09	1.08	-0.10	14,166	6.2	8,068	-6.5	-	-	-	-	-
【四半期統計】													
令和6年 II	-	-	-	-	3,280	-6.6	2,100	4.1	-	-	-	-	-
III	-	-	-	-	3,600	-5.2	2,299	3.7	-	-	-	-	-
IV	-	-	-	-	3,385	0.0	2,189	1.4	-	-	-	-	-
令和7年 I	-	-	-	-	3,070	-0.2	1,985	-2.6	-	-	-	-	-
II	-	-	-	-	3,331	1.6	2,057	-2.0	-	-	-	-	-
III	-	-	-	-	3,982	10.6	2,143	-6.8	-	-	-	-	-
IV	-	-	-	-	3,783	11.8	1,883	-14.0	-	-	-	-	-
令和8年 I	-	-	-	-	3,517	14.6	1,727	-13.0	-	-	-	-	-
【月次統計】													
令和6年4月	1.46	-0.04	1.20	0.05	1,045	-3.5	696	4.9	-	-	-	-	-
5月	1.69	0.08	1.14	0.04	1,100	-8.5	720	2.5	54.7	42.3	40.0	51.1	-
6月	1.72	-0.19	1.10	-0.03	1,135	-7.6	685	4.9	-	-	-	-	-
7月	2.19	0.15	1.17	-0.01	1,234	-1.9	764	4.1	-	-	-	-	-
8月	1.95	-0.18	1.17	-0.05	1,181	-10.9	811	1.3	49.5	37.5	58.3	47.9	-
9月	1.76	-0.36	1.17	-0.09	1,185	-2.2	724	5.9	-	-	-	-	-
10月	1.95	-0.14	1.14	-0.18	1,217	-0.7	751	4.0	-	-	-	-	-
11月	2.18	-0.25	1.20	-0.18	1,081	-2.7	730	1.6	49.0	45.0	43.8	48.1	-
12月	2.31	-0.06	1.25	-0.16	1,087	3.6	708	-1.6	-	-	-	-	-
令和7年1月	2.03	0.08	1.26	-0.16	1,063	0.6	660	-0.1	-	-	-	-	-
2月	2.10	0.01	1.26	-0.13	1,006	-3.6	611	-5.8	49.0	44.4	43.8	48.0	-
3月	1.60	-0.21	1.18	-0.15	1,001	2.8	714	-2.2	-	-	-	-	-
4月	1.36	-0.10	1.04	-0.16	1,048	0.3	675	-3.0	-	-	-	-	-
5月	1.75	0.06	1.03	-0.11	1,083	-1.5	709	-1.5	41.3	37.5	41.7	40.6	-
6月	1.77	0.05	1.04	-0.06	1,200	5.7	673	-1.6	-	-	-	-	-
7月	2.01	-0.18	1.07	-0.10	1,331	7.9	749	-1.9	-	-	-	-	-
8月	1.92	-0.03	1.06	-0.11	1,287	9.0	762	-6.1	41.3	45.8	35.0	41.2	-
9月	1.69	-0.07	1.06	-0.11	1,364	15.1	632	-12.8	-	-	-	-	-
10月	1.90	-0.05	1.06	-0.08	1,322	8.6	643	-14.3	-	-	-	-	-
11月	1.90	-0.28	1.07	-0.13	1,214	12.3	622	-14.9	45.2	41.7	45.0	44.6	-
12月	2.09	-0.22	1.11	-0.14	1,247	14.7	619	-12.7	-	-	-	-	-
令和8年1月	1.71	-0.32	1.10	-0.16	1,216	14.4	579	-12.2	-	-	-	-	-
2月	2.12	0.02	1.20	-0.06	1,143	13.6	532	-13.0	49.5	28.1	37.5	45.9	-
3月	1.62	0.02	1.12	-0.06	1,158	15.7	615	-13.8	-	-	-	-	-
出典：	ハロワークいわき（年間倍率は年度ベースの値）						株式会社ネクスコ・トール東北いわき事業部		いわき市産業チャレンジ課(H30.1調査開始)景気ウォッチャー（いわき市民）に景気の先行きを質問。良くなる（1点）、不変（0.5点）、悪く（0点）に回答者構成比を乗じて指数を算出。				

## 2 いわき市の景気の動き（景気動向指数）（令和8年第Ⅰ四半期（1～3月）の状況）

### （1） C I（コンポジット・インデックス）

#### ① 概要

3月のCIは、先行指数が132.3、一致指数が137.5、遅行指数が129.4となった。

#### ② 指数別の動向（指数は令和2年の水準を100とする）

【先行指数】 3月は132.3ポイントで、4ヵ月振りに低下した。

寄与度がプラスの指標は、中小企業DI（全業種）（6ヵ月振り）、新設住宅着工戸数（2ヵ月連続）等の5指標、マイナスの指標は、新規求人倍率（4ヵ月振り）、鉱工業在庫率指数（逆）（5ヵ月振り）等の3指標であった。

【一致指数】 3月137.5ポイントで、4ヵ月振りに低下した。

寄与度がプラスの指標は、鉱工業生産指数（2ヵ月振り）、小名浜港輸入通関実績（2ヵ月振り）等の3指標、マイナスの指標は、鉱工業出荷指数（4ヵ月振り）、大型小売店等販売額（2ヵ月連続）等の6指標であった。

【遅行指数】 3月は129.4ポイントで、3ヵ月連続で低下した。

寄与度がプラスの指標は、いわき市中央卸売市場取扱高（2ヵ月振り）等の2指標、マイナスの指標は、入湯税調定人員（4ヵ月連続）、法人市民税調定額（2ヵ月振り）等の5指標であった。

※C Iの変化の大きさは景気の勢い（テンポ）を示す。

#### ③ 指数の推移及び寄与度の内訳（C Iの上昇・下降がどの指標により引き起こされたか）（令和2年=100）

区 分	令和7年												令和8年		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
<b>先行指数（C I）</b>	119.0	123.6	125.5	119.2	114.0	121.6	125.5	116.5	120.8	124.8	133.8	132.3			
前月差(ポイント) (寄与度合計)	-8.28	4.67	1.89	-6.34	-5.2	7.61	3.93	-9.05	4.32	3.97	9.04	-1.53			
先行系列寄与度内訳	1. 自動車新規登録台数	-0.82	2.37	0.96	-2.87	-0.53	-0.13	1.62	-4.91	4.81	-1.82	0.06	-0.38		
	2. 新設住宅着工戸数	-2.84	-2.44	2.69	-3.08	0.93	1.67	4.42	-1.78	-3.14	-1.72	2.93	1.19		
	3. 建築確認申請受付件数	-5.09	3.02	0.95	0.41	-0.87	4.66	-2.78	-2.40	-0.03	4.28	-5.30	0.96		
	4. 鉱工業在庫率指数（逆）	-1.21	2.07	-0.02	-2.01	-4.64	1.77	-1.39	0.38	2.15	2.66	5.30	-1.95		
	5. 中小企業DI（全業種）	-0.08	-0.08	-1.75	-0.11	-0.11	0.75	-0.12	-0.12	-0.49	-0.12	-0.12	2.58		
	6. 新規求人倍率	1.28	1.87	-1.59	0.78	-0.72	-1.74	1.69	-1.90	0.53	0.07	5.15	-4.45		
	7. いわき市景気ウォッチャー先行き判断DI	-0.08	-2.73	0.03	0.03	0.22	0.01	0.01	1.25	-0.02	-0.02	0.53	0.03		
	8. 一致指数トレンド成分	0.57	0.58	0.62	0.51	0.51	0.61	0.49	0.43	0.51	0.64	0.49	0.49		
<b>一致指数（C I）</b>	146.2	148.6	148.3	147.3	140.1	143.3	138.8	135.6	136.7	140.0	141.7	137.5			
前月差(ポイント) (寄与度合計)	0.81	2.36	-0.25	-1.01	-7.18	3.20	-4.49	-3.20	1.11	3.27	1.70	-4.16			
一致系列寄与度内訳	1. 公共工事受注額	0.13	-0.22	-1.84	0.60	-0.39	-0.02	0.33	-0.13	0.15	0.34	1.32	-2.48		
	2. 観光施設利用者指数	-0.11	0.19	0.70	-0.87	0.85	0.08	0.13	0.49	-0.30	-0.09	-0.35	0.09		
	3. 大型小売店等販売額	-0.62	0.12	0.57	2.36	-0.58	-0.22	-2.17	1.16	-1.21	2.51	-1.33	-0.71		
	4. 鉱工業生産指数	-0.59	0.75	0.44	-0.16	-0.97	0.53	0.75	-1.84	1.32	0.11	-0.84	1.77		
	5. 鉱工業出荷指数	1.21	0.51	-0.14	-0.63	-1.67	2.55	-0.71	-0.52	0.83	0.43	2.51	-2.35		
	6. 小名浜港輸入通関実績	0.16	0.17	0.56	0.09	-0.76	2.23	-1.15	-0.21	-0.58	2.63	-1.60	0.62		
	7. いわき市中小企業融資残高	1.04	0.02	-0.49	-2.15	-1.10	1.00	-0.71	-0.93	0.83	-2.57	-0.04	-0.04		
	8. 有効求人倍率	-0.30	0.82	-0.12	-0.24	-0.63	-0.36	-0.33	-0.76	-0.22	-0.35	2.67	-0.60		
	9. 高速道路出入交通量	-0.10	0.00	0.08	-0.01	-1.92	-2.59	-0.63	-0.46	0.30	0.26	-0.66	-0.45		
<b>遅行指数（C I）</b>	140.1	138.6	136.2	138.2	143.5	142.9	141.6	139.7	140.9	139.8	136.0	129.4			
前月差(ポイント) (寄与度合計)	2.82	-1.55	-2.40	1.99	5.28	-0.61	-1.28	-1.92	1.24	-1.09	-3.81	-6.64			
遅行系列寄与度内訳	1. 入湯税調定人員	1.02	-0.46	-0.74	-0.55	0.26	-0.54	-0.74	0.18	-0.22	-0.13	-0.04	-2.88		
	2. いわき市中央卸売市場取扱高	-0.66	1.91	-1.27	0.47	0.43	0.10	-1.31	0.09	1.06	0.88	-1.85	0.05		
	3. 鉱工業在庫指数	3.58	-2.41	-0.32	1.85	3.99	2.63	0.53	-1.79	-1.62	-3.20	-4.46	-0.72		
	4. いわき市中小企業融資利率	1.89	-2.36	0.83	0.39	-0.30	1.02	-1.69	0.51	0.41	1.34	0.52	-1.59		
	5. 法人市民税調定額	-4.18	1.30	0.31	1.32	0.12	-1.02	0.28	0.24	1.00	-0.17	0.73	-1.92		
	6. 雇用保険受給者実人員（逆）	0.54	-0.20	-1.90	-2.06	0.16	-3.55	1.10	-1.65	0.01	-0.53	0.75	-0.07		
	7. 一致指数トレンド成分	0.64	0.66	0.69	0.57	0.61	0.75	0.56	0.50	0.60	0.73	0.53	0.48		

注1) C Iはトレンド（長期的趨勢）と、トレンド周りの変化を合成し作成される。

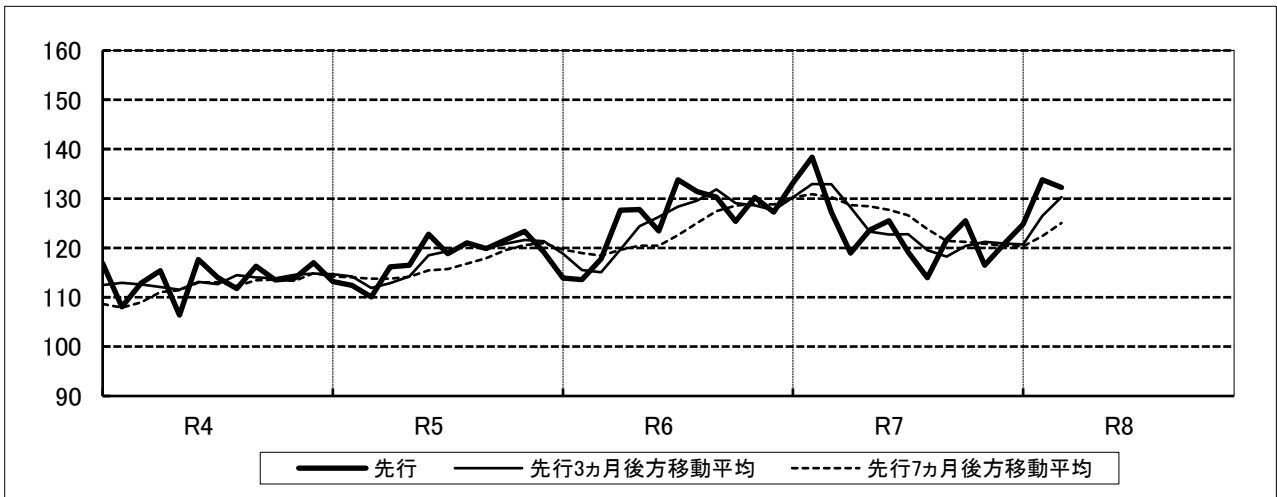
2) 一致指数トレンド成分とは、一致指数の長期的趨勢が先行指数、遅行指数に与えた影響を示す。

3) 寄与度とは、指数の変化にそれぞれの指標がどの程度の影響を与えたかを示す。

#### ④ CIの推移

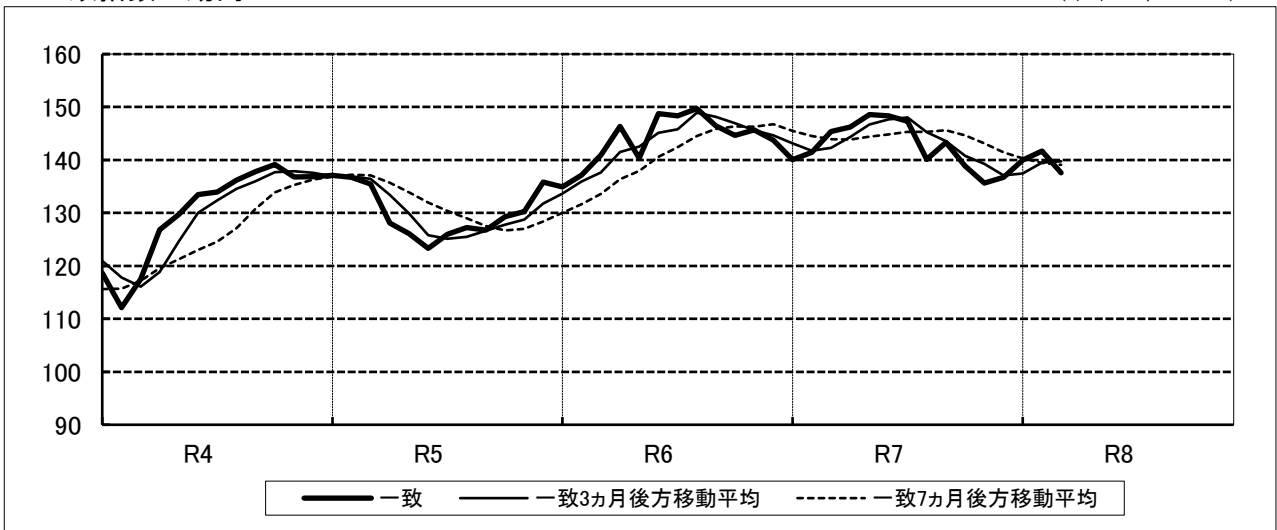
##### ・先行指数の推移

(令和2年=100)



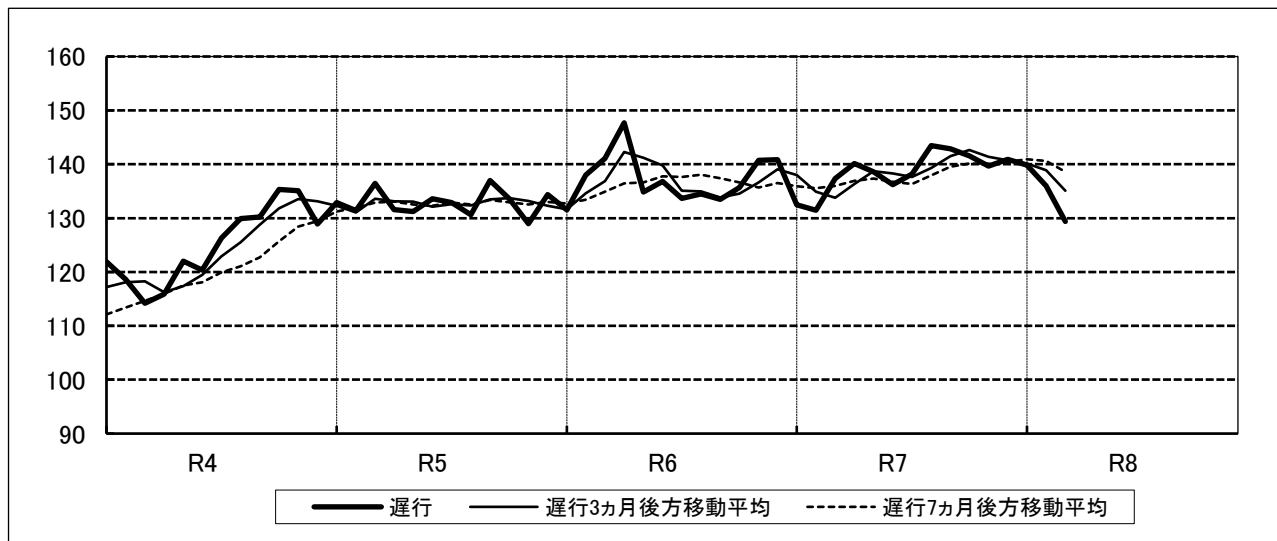
##### ・一致指数の動向

(令和2年=100)



##### ・遅行指数の動向

(令和2年=100)



⑤ CIデータ

・先行指数

(令和2=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
29	108.9	112.4	113.5	116.7	113.8	122.0	113.8	120.2	122.8	114.5	114.3	120.7
30	118.1	115.2	112.4	113.8	115.3	115.0	114.2	112.6	108.4	111.5	116.9	113.3
1	110.8	117.1	115.2	111.3	113.2	113.8	108.6	109.2	110.8	103.1	103.4	109.3
2	109.1	106.8	102.6	94.9	94.5	94.9	98.2	99.0	101.1	101.0	98.2	99.7
3	99.0	108.0	106.4	107.5	109.7	112.3	113.1	105.2	100.9	103.7	106.8	113.8
4	116.9	108.1	112.9	115.4	106.4	117.7	114.0	111.8	116.3	113.5	113.8	117.0
5	113.2	112.4	110.1	116.2	116.5	122.8	118.8	121.0	119.9	121.6	123.4	119.2
6	113.9	113.6	117.8	127.7	127.8	123.4	133.8	131.4	130.3	125.4	130.2	127.3
7	133.1	138.4	127.2	119.0	123.6	125.5	119.2	114.0	121.6	125.5	116.5	120.8
8	124.8	133.8	132.3									

・一致指数

(令和2=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
29	136.6	136.6	137.8	136.3	137.6	136.1	129.8	131.4	129.8	126.7	129.2	133.1
30	127.5	126.1	123.0	120.6	120.5	115.0	114.3	114.7	114.9	112.4	108.9	106.2
1	106.7	109.1	111.2	113.4	110.1	109.0	105.2	109.0	108.8	102.3	109.3	109.0
2	108.7	108.6	104.9	98.8	96.0	96.6	100.5	93.9	95.1	99.5	99.2	98.1
3	97.8	101.1	102.3	100.8	99.3	104.2	111.7	106.8	110.6	117.4	121.6	122.7
4	118.6	112.1	117.5	126.8	129.7	133.5	134.0	136.2	137.8	139.1	136.8	136.9
5	137.1	136.7	135.5	128.1	126.1	123.3	126.0	127.2	126.8	129.3	130.2	135.8
6	134.9	137.2	140.9	146.3	140.3	148.7	148.3	149.7	146.5	144.6	145.7	143.7
7	140.1	141.4	145.4	146.2	148.6	148.3	147.3	140.1	143.3	138.8	135.6	136.7
8	140.0	141.7	137.5									

・遅行指数

(令和2=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
29	131.3	122.1	128.0	123.7	118.0	117.1	116.1	113.0	118.1	114.5	117.4	120.6
30	114.2	114.6	120.6	117.5	125.0	120.6	117.1	117.5	121.6	117.5	114.5	111.3
1	112.3	110.5	109.2	104.7	102.5	105.6	104.1	106.6	100.6	101.9	101.0	97.1
2	101.1	99.9	99.3	96.5	96.5	93.3	98.6	99.5	102.4	103.6	103.0	106.3
3	98.2	101.6	100.2	99.4	105.9	103.0	109.9	105.3	106.6	111.5	116.0	113.7
4	121.9	118.6	114.2	115.9	122.0	120.4	126.3	129.9	130.2	135.3	135.1	128.9
5	132.9	131.4	136.4	131.6	131.2	133.6	132.9	130.6	137.0	133.6	129.0	134.3
6	131.5	138.0	141.1	147.7	134.8	136.8	133.6	134.5	133.5	135.7	140.7	140.9
7	132.5	131.5	137.3	140.1	138.6	136.2	138.2	143.5	142.9	141.6	139.7	140.9
8	139.8	136.0	129.4									

## (2) DI (デフレーション・インデックス)

### ① 概要

【先行指数】 3月は、71.4%と2ヵ月連続で50%を上回った。

【一致指数】 3月は、55.6%と3ヵ月連続で50%を上回った。

【遅行指数】 3月は、33.3%と3ヵ月振りに50%を下回った。

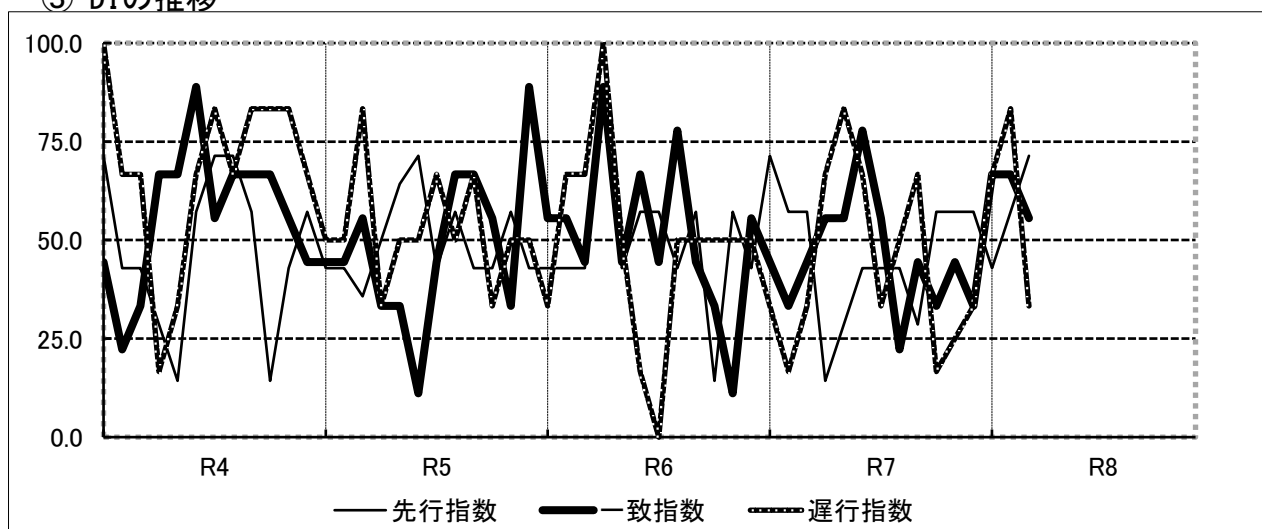
(注) 各指数とも50%が景気の拡張期と後退期との境目とされる (-景気動向指数利用の手引き-参照)

### ② DIの推移

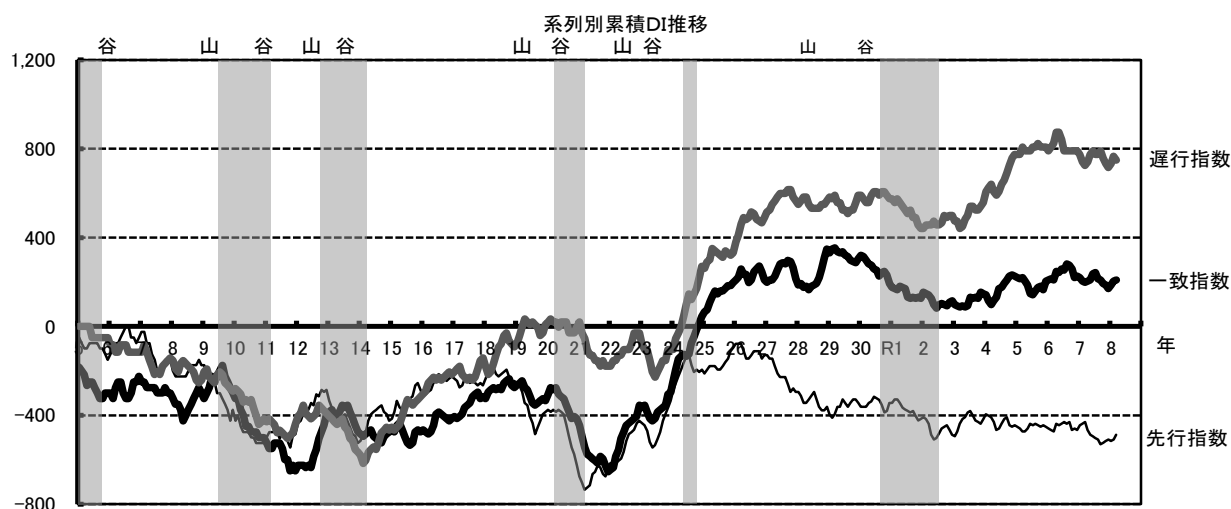
区 分	令和7年												令和8年		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
先行指数 (D . I)	14.3	28.6	42.9	42.9	42.9	28.6	57.1	57.1	57.1	42.9	57.1	71.4			
一致指数 (D . I)	55.6	55.6	77.8	55.6	22.2	44.4	33.3	44.4	33.3	66.7	66.7	55.6			
遅行指数 (D . I)	66.7	83.3	66.7	33.3	50.0	66.7	16.7	25.0	33.3	66.7	83.3	33.3			

注)DIは、先行(7指標)、一致(9指標)、遅行(6指標)に属する各経済指標について、3ヵ月前と比較して改善している指標の割合を指数としている。

### ③ DIの推移



(参考) 累積DIの推移 (平成5年以降)



注1) 累積指数は、基準月(平成5年1月)の値を0として各月のDIの値を次式により累積したものである。

$$\text{累積DI}(t) = \text{累積DI}(t-1) + (\text{DI}(t) - 50)$$

注2) DI及び累積DIは景気の方向性のみを表すものであり、その水準や振幅の大きさは景気動向と無関係である。

注3) グラフでは各指数の動きを見やすくするため、一致指数に-200を加算してある。

注4) 影の部分は国における景気後退期を示す。

## -景気動向指数利用の手引き-

### (1) 景気動向指数の概要

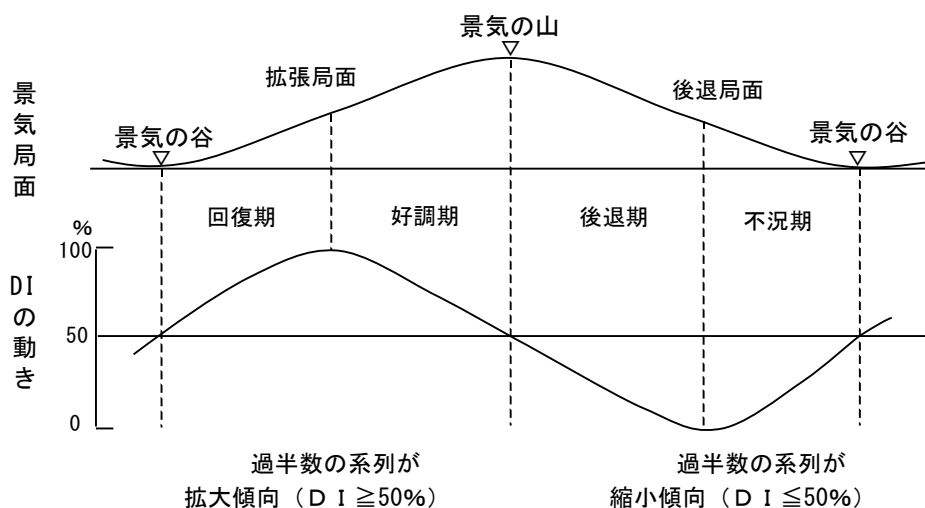
- 景気動向指数は、景気の勢いや方向性を知るために、景気の動きを敏感に反映する経済指標を組み合わせて作成された総合的な経済指標である。景気の勢いを示すC I（コンポジット・インデックス）と、景気の方角性を示すD I（ディフュージョン・インデックス）の2種類の指数があり、両者の動きを総合して景気の現状把握や将来予測等を行う。
- C I、D Iはともに、景気に先行して動く先行指数、ほぼ一致して動く一致指数、遅れて動く遅行指数の3種類の指数を作成する。一致指数は景気の現状把握に利用する。先行指数は景気の動きを予測するために利用する。遅行指数は景気の転換点や局面の確認に利用する。

### (2) C I（コンポジット・インデックス Composite Index）の概要

- C Iは複数の経済指標の前月と比べた変化量を合成したものである。例えば、いわき市のC Iでは、大型小売店等販売額等9つの経済指標の変化量を合成して一致指数を作成している。  
(詳細な計算方法については、内閣府経済社会総合研究所のホームページ [http://www.esri.cao.go.jp/ip/stat/di/menu\\_di.html](http://www.esri.cao.go.jp/ip/stat/di/menu_di.html)を参照)。
- C Iの変化の大きさは景気のテンポ（勢い）を示す。景気の拡大期にはC Iが上昇傾向を示し、後退期には下降傾向を示す。ただし、C Iは上昇・下降を繰り返しながら変化するため、景気局面の判断はD Iを含めた総合的な指標によって判断する。

### (3) D I（ディフュージョン・インデックス Diffusion Index）の概要

- D Iは、複数の経済指標の変化方向を合成したものである。採用指標の各月の値を3カ月前の値と比較して、改善した指標の割合がD Iとなる。例えば、いわき市の一致指数では9つの指標を採用するため、そのうち3つが改善したならば  $3 \div 9 = 0.333$  (DI=33.3%) と計算する。
- 一般に、50%を上回っているときに景気の拡張局面、50%を下回っているときに後退局面、50%を上から下に切るときが景気の山、50%を下から上に切るときが景気の谷とされる。



### (4) 景気基準日付

景気の高・谷（拡張局面と後退局面との転換点）を景気基準日付と呼ぶ。この景気基準日付は、D Iの動きのほか、他の主要経済指標の動きなども総合的に勘案して設定されるが、国では以下のように定めている。

景気基準日付（全国）

区分	谷	山	谷	区分	谷	山	谷
第1循環		S26. 6.	S26. 10.	第9循環	S52. 10.	S55. 2.	S58. 2.
第2循環	S26. 10.	29. 1.	29. 11.	第10循環	58. 2.	60. 6.	61. 11.
第3循環	29. 11.	32. 6.	33. 6.	第11循環	61. 11.	H 3. 2.	H 5. 10.
第4循環	33. 6.	36. 12.	37. 10.	第12循環	H 5. 10.	9. 5.	11. 1.
第5循環	37. 10.	39. 10.	40. 10.	第13循環	11. 1.	12. 11.	14. 1.
第6循環	40. 10.	45. 7.	46. 12.	第14循環	14. 1.	20. 2.	21. 3.
第7循環	46. 12.	48. 11.	50. 3.	第15循環	21. 3.	24. 3.	24. 11.
第8循環	50. 3.	52. 1.	52. 10.	第16循環	24. 11.	30. 10.	R2. 5.

(5) いわき市の景気動向指数採用系列の概要

項 目		内 容		原データの出典
先行系列	1 自動車新規登録台数	季	代表的な耐久消費財である自動車の販売動向を示し、いわき市における消費動向が反映されている。	いわき自動車検査登録事務所、全国軽自動車協会連合会いわき支所
	2 新設住宅着工戸数	季	住宅への投資動向を表す。住宅投資の増加は建設資材需要や家具の買替え需要などの波及効果をもたらす。	福島県土木部
	3 建築確認申請受付件数	季	住宅を含む建設投資動向が反映される。家計の動向のみならず、企業等の景気見通しに影響される。	いわき市建築指導課
	4 鉱工業在庫率指数(逆)	季	鉱工業在庫指数/出荷指数により算出。景気回復局面に低下、悪化局面に上昇する。	福島県企画調整部
	5 中小企業DI(全業種)	原	企業経営者の景況感を指標化したもの。増加(好転)企業割合ー減少(悪化)企業割合により算出。企業の生産・投資活動との関連性が高い。0が横ばい(または景気の転換点)の水準。	福島県産業振興センター
	6 新規求人倍率	季	月間新規求人数/月間新規求職者数で算出。労働需給の変化が敏感に反映され、特に景気の山の判定に活用される。	ハローワークいわき
	7 いわき市景気ウォッチャー先行き判断DI	原	市内の様々な職種の景気ウォッチャーの方々の生活実感を指数化したもの。50が横ばい(もしくは景気の転換点)の水準。	いわき市産業チャレンジ課
一致系列	1 公共工事受注額	移	いわき市内における公共工事の受注高。	いわき市建設業協同組合、(社)福島県建設業協会いわき支部
	2 観光施設利用者指数	季	いわき市内の主要観光施設の利用者数。平成25年第I四半期を100として指数化したもの。	いわき市産業チャレンジ課
	3 大型小売店等販売額	前	いわき市内の主要な大型小売店舗の販売額であり、本調査のため、いわき市独自で調査したデータ。	いわき市産業チャレンジ課
	4 鉱工業生産指数	季	鉱工業部門の生産数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業チャレンジ課(原データ:福島県)
	5 鉱工業出荷指数	季	鉱工業部門の出荷数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業チャレンジ課(原データ:福島県)
	6 小名浜港輸入通関実績	季	小名浜港を通過して輸入された貨物の金額。工業用原材料が多くを占める。	財務省貿易統計
	7 いわき市中小企業融資制度融資残高	前	いわき市の中小企業向け低利融資制度に係る融資残高であり、市内中小企業の資金需要の増減が反映される。	いわき市産業チャレンジ課
	8 有効求人倍率	季	月間有効求人数/月間有効求職者数で算出され、労働需給が反映される。	ハローワークいわき
	9 高速道路出入交通量	季	いわき市内インターにおける車両の出入交通量。	株式会社ネクスコ・トール東北いわき事業部
遅行系列	1 入湯税調定人員	季	いわき湯本をはじめとする市内の温泉利用者数。観光客数の動向が反映されている。	いわき市市民税課
	2 いわき市中央卸売市場取扱高	季	いわき市中央卸売市場の水産部における取扱高。飲食需要が反映され、その増減に景気の動きが反映される。	いわき市卸売市場
	3 鉱工業在庫指数	季	鉱工業部門の在庫数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業チャレンジ課(原データ:福島県)
	4 いわき市中小企業融資制度融資利率	前	いわき市の中小企業向け低利融資制度に係る融資利率であり、市内中小企業の資金需要の増減が反映される。	いわき市産業チャレンジ課
	5 法人市民税調定額	季	企業の所得変動を税収面から捉えた指標であり、過去1年間の経済活動の状況が反映される。	いわき市市民税課
	6 雇用保険受給者実人員(逆)	季	失業給付を受けている有効失業者数であり、景気に遅行し逆サイクルで動く。	ハローワークいわき

注) 季: X-13ARIMA-SEATSによる季節調整値、前: 原数値の前年同月比、原: (四半期) 原数値、移: 12ヵ月移動平均  
 逆: 景気の上昇期に減少(低下)し、下降期に増加(上昇)するもの。

## 【参考】 国・県の動き

### 1 経済・景気の動向

(1) 国の動向	<p>(我が国経済の基調判断)</p> <p>景気は、緩やかに回復しているが、中東情勢の影響を注視する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・個人消費は、持ち直しの動きがみられる。ただし、消費者マインドがこのところ弱い動きとなっていることに注意が必要である。</li><li>・設備投資は、持ち直している。</li><li>・輸出は、おおむね横ばいとなっている。</li><li>・生産は、横ばいとなっている。</li><li>・企業収益は、改善の動きがみられるが、中東情勢の影響を注視する必要がある。</li><li>・雇用情勢は、改善の動きがみられる。</li><li>・消費者物価は、緩やかに上昇している。</li></ul> <p>先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、中東情勢の影響を注視する必要がある。また、金融資本市場の変動の影響などに注意する必要がある。</p> <p>(内閣府「月例経済報告」令和8年5月公表分)</p>
(2) 県の動向	<p>県内の景気は、足踏み状態となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・個人消費……一部に弱い動きがみられる。</li><li>・建設需要……弱い動きがみられる。</li><li>・生産活動……一進一退の状況が続いている。</li><li>・雇用・労働……一部に弱い動きがみられる。</li><li>・物価……企業物価指数、消費者物価指数はともに前年を上回っている。</li><li>・企業・金融……企業倒産件数は前年を下回り、負債総額は前年を上回った。預金残高、貸出残高はともに前年を上回った。</li></ul> <p>(福島県「最近の県経済動向」令和8年6月公表分)</p>

### 2 景気動向指数(CI)

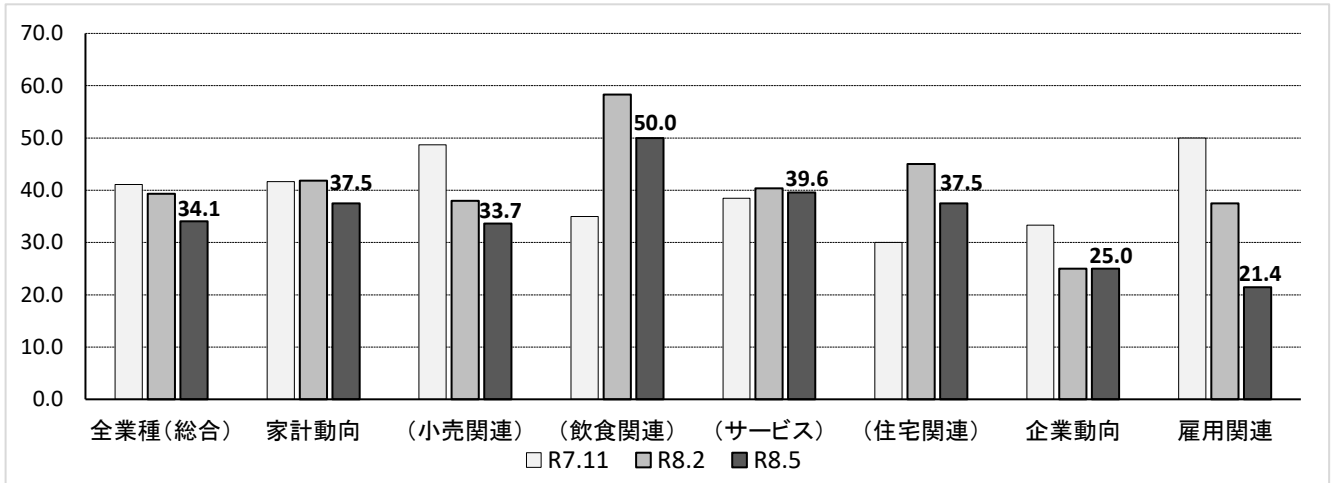
(1) 国の動向	<p>①3月のCI(速報値・令和2(2020)年=100)は、先行指数:114.5、一致指数:116.5、遅行指数:113.4となった。</p> <p>先行指数は、前月と比較して1.3ポイント上昇し、10ヵ月連続の上昇となった。3ヵ月後方移動平均は1.36ポイント上昇し、9ヵ月連続の上昇となった。7ヵ月後方移動平均は1.08ポイント上昇し、7ヵ月連続の上昇となった。</p> <p>一致指数は、前月と比較して0.3ポイント上昇し、2ヵ月ぶりの上昇となった。3ヵ月後方移動平均は0.70ポイント上昇し、3ヵ月連続の上昇となった。7ヵ月後方移動平均は0.37ポイント上昇し、3ヵ月連続の上昇となった。</p> <p>遅行指数は、前月と比較して0.5ポイント上昇し、3ヵ月連続の上昇となった。3ヵ月後方移動平均は0.47ポイント上昇し、4ヵ月ぶりの上昇となった。7ヵ月後方移動平均は0.08ポイント上昇し、5ヵ月ぶりの上昇となった。</p> <p>②一致指数の基調判断</p> <p>景気動向指数(CI一致指数)は、上方への局面変化を示している。</p> <p>(内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」令和8年5月公表分)</p>
(2) 県の動向	<p>1 概 括</p> <p>3月の景気動向指数(CI:コンポジット・インデックス、R2年=100)は、先行指数114.1ポイント、一致指数105.2ポイント、遅行指数98.8ポイントとなった。</p> <p>先行指数は、前月(108.9ポイント)を5.2ポイント上回り、2ヵ月連続の上昇となった。</p> <p>一致指数は、前月(103.4ポイント)を1.8ポイント上回り、2ヵ月振りの上昇となった。</p> <p>遅行指数は、前月(99.6ポイント)を0.8ポイント下回り、4ヵ月連続の下降となった。</p> <p>2 一致指数の動向</p> <p>寄与度がプラスの系列</p> <p>生産財出荷指数、鉱工業生産指数、所定外労働時間指数(全産業)、最終需要財出荷指数</p> <p>寄与度がマイナスの系列</p> <p>雇用保険受給者実人員、建築着工床面積(鉱工業)、有効求人倍率</p> <p>(福島県「福島県景気動向指数」令和8年6月公表分)</p>

## II いわき市景気ウォッチャー調査：令和8年5月時点

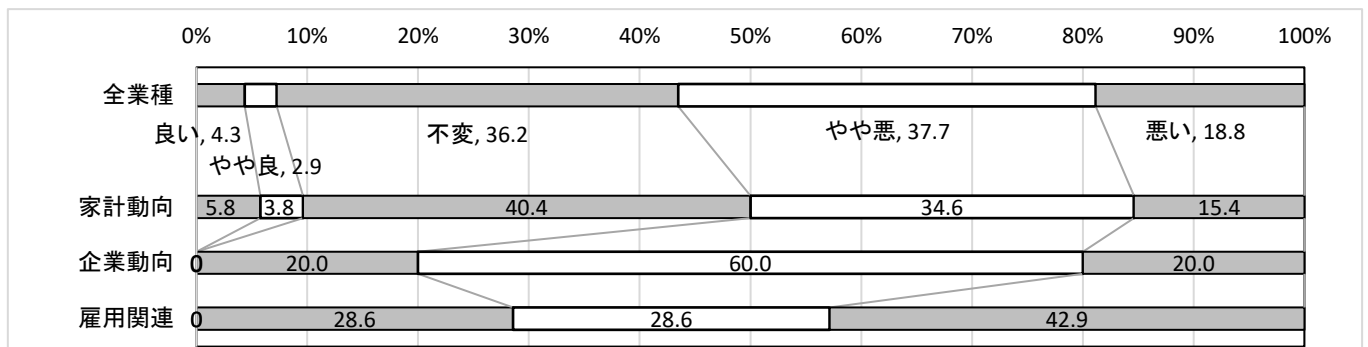
### 1 景気の現状について

#### (1) 現状判断DI

- 全業種（総合）の現状判断DIは34.1と、前回より5.3ポイント低下した。内訳では、家計動向と雇用関連が低下し、企業動向は横ばいであった。
- 主要業種別では、家計動向が37.5と前回より4.3ポイント低下した。家計の内訳では、小売、飲食、サービス、住宅関連すべてで低下した。企業動向は25.0と横ばい、雇用関連は21.4と16.1ポイント低下した。



- 全業種（総合）の回答内容をみると、3ヵ月前と比べて「良くなっている」は4.3%であり、「やや良くなっている」が2.9%、「変わらない」が36.2%、「やや悪くなっている」が37.7%、「悪くなっている」が18.8%となった。



#### (2) 現状判断の理由

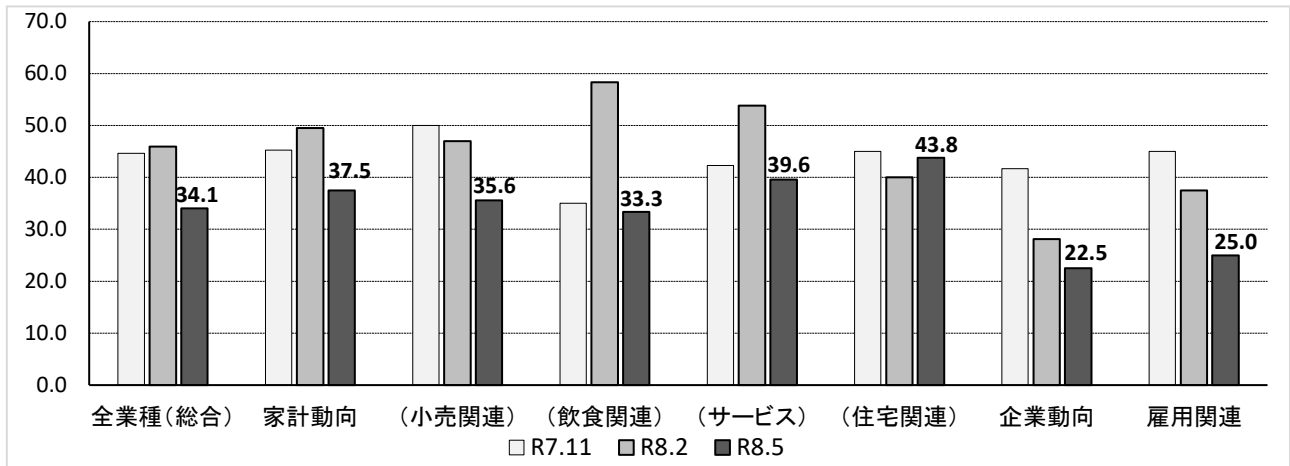
現状判断の理由として、家計動向では「来客者数の動き」、企業動向では「受注量や販売量」、雇用関連では「周辺企業の動き」などが挙げられた。

項目(家計)	良い	不変	悪い	合計	項目(企業)	良い	不変	悪い	合計	項目(雇用)	良い	不変	悪い	合計
1. 来客者数の動き	2	13	8	23	1. 受注量や販売量	0	0	4	4	1. 求人数の動き	0	0	0	0
2. 販売量の動き	2	2	7	11	2. 受注価格や販売価格	0	1	1	2	2. 求職者数の動き	0	1	1	2
3. 単価の動き	0	0	5	5	3. 取引先の様子	0	1	1	2	3. 採用者の動き	0	0	0	0
4. お客様の様子	0	4	4	8	4. 競争相手の様子	0	0	0	0	4. 周辺企業の動き	0	1	2	3
5. 競争相手の様子	0	0	1	1	5. その他	0	0	2	2	5. その他	0	0	2	2
6. その他	1	2	1	4										
合計	5	21	26	52	合計	0	2	8	10	合計	0	2	5	7

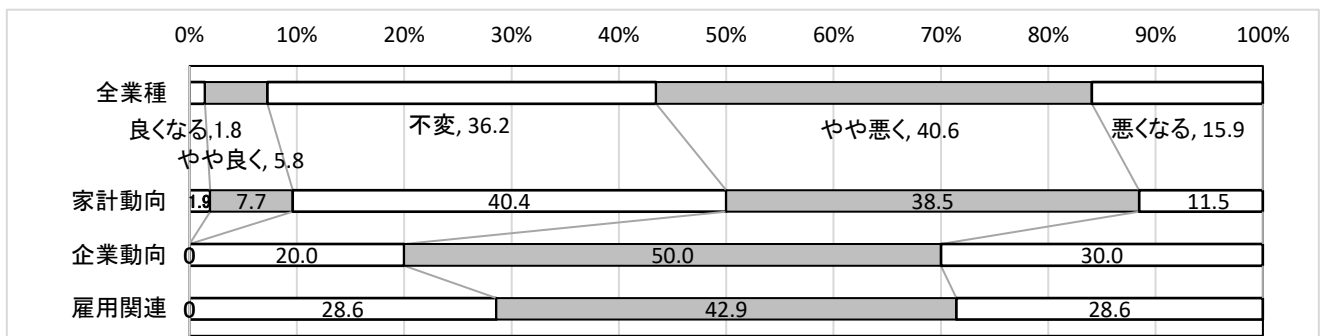
## 2 景気の先行きについて

### (1) 先行き判断DI

- 全業種（総合）の先行き判断DIは34.1と、前回より11.8ポイント低下した。内訳では、家計動向、企業動向、雇用関連すべてで低下した。
- 主要業種別では、家計動向が37.5と前回より12.0ポイント低下した。家計の内訳では、住宅関連が上昇し、小売、飲食、サービスが低下した。企業動向は22.5と5.6ポイント低下し、雇用関連は25.0と12.5ポイント低下した。



- 全業種（総合）の回答内容をみると、2~3ヵ月先には「良くなる」は1.8%であり、「やや良くなる」が5.8%、「変わらない」が36.2%、「やや悪くなっている」が40.6%、「悪くなっている」が15.9%となった。



### (2) 先行き判断の理由

先行き判断の理由として、家計動向では「来客者数の動き」、企業動向では「取引先の様子」、雇用関連では「周辺企業の動き」などが挙げられた。

項目(家計)	良い	不変	悪い	合計	項目(企業)	良い	不変	悪い	合計	項目(雇用)	良い	不変	悪い	合計
1. 来客者数の動き	2	9	7	18	1. 受注量や販売量	0	2	0	2	1. 求人数の動き	0	0	0	0
2. 販売量の動き	0	3	8	11	2. 受注価格や販売価格	0	0	2	2	2. 求職者数の動き	0	1	0	1
3. 単価の動き	1	2	2	5	3. 取引先の様子	0	0	4	4	3. 採用者の動き	0	0	0	0
4. お客様の様子	0	4	4	8	4. 競争相手の様子	0	0	0	0	4. 周辺企業の動き	0	1	1	2
5. 競争相手の様子	0	0	0	0	5. その他	0	0	2	2	5. その他	0	0	4	4
6. その他	2	3	5	10										
合計	5	21	26	52	合計	0	2	8	10	合計	0	2	5	7

### 3 市内景気に関する自由意見

(アンケート自由意見欄にご記入頂いた内容。

記入された方が特定される情報等は割愛させていただきました。

また、同種のご意見はまとめさせていただきました。)

#### (中東情勢・原油問題による先行き不安)

- 高齢者のお客様が、昨今の物価高に全く対応できていない。現役世代は給与増額などもあり、なんとか食らいついている感じ。今後も、原油不足による様々な物価高が続くと、現役世代も厳しい局面が出てくる可能性がある。売上だけでみると、インフレにより売上金額は取れていくと思う。ただ、客数減、利益の圧迫は避けられない感じである。
- 「第3次オイルショック」ともいえる状況が毎日報道され、それに伴う物価の上昇やモノ不足が誘発され、消費者の特に買回り品の購買意欲が低下している向きもあり、今後の景気に左右される不安がある。
- 3か月前と比べ、5月前半の1日平均売上はGWの影響で137%と増加した。イラン情勢が悪化した3月の売り上げ前年比が85%と落ち込み、この先も利益確保が困難になると予測する。
- 原油が入らないので、色々な材料が不足し値上がりしている。給与が上がらないので外食を控える傾向にある。
- 物価が高騰しているさなか、中東情勢の悪化でだいぶ影響が出始めており、このままではかなり厳しい。
- 物価上昇に伴い、中東の紛争で元となる原油が入ってこないとなれば、今の不景気にあおりをかけている様なものである。ますます悪化するのではないかと不安になる。
- ホルムズの影響は大変大きい。先は不透明。仕入は上がり売上へ転嫁しきれない所が必ず出てくることから、よくなるとは考えられない。
- ホルムズ封鎖等による世界動向の変化（コストup、物不足懸念etc）が主たる要因とする「先行き不安」が日々の経済活動に影響してきている。
- イラン関連の動向で原材料の価格が予想できない。
- 中東情勢により値上げ影響が心配である。
- 中東状況次第。
- ナフサの影響により資材の搬入状況が悪い。

#### (物価高・原材料高騰による経営圧迫)

- 事業者の決算書によると、売上増となってもコストもそれ以上増加しているため、収益性が低下しているという事業者が多いと感じる。そのため、公的施策も「利益率減」という要件というものもある。最低賃金の引き上げ幅が大きく、物価高とのダブルパンチで、特に飲食店は100%価格転嫁ができておらず、今後もっと厳しい状況になると予測される。
- 水道光熱費の高騰による、商品単価の上昇で、買い控えや出控えなどが増加すると推測される。当社のような、サービス系小売りの企業への影響が懸念される。
- 社会情勢含め、物価高に歯止めもかからず、消費も儉約志向。明るい話題も少ない為、今後もさらに厳しいは続くと思われる。
- 原材料や人件費の値上がりで経営が苦しい。
- 物が入って来ないと受注停止があり、売れるものも売れない状態になっている。
- 原価高騰継続による収益悪化。

### **(地域経済・商店街の停滞)**

- 市内のプラント系工場の閉鎖や縮小が相次いでおり、経済に対する不安感が高まっていると思う。失業者の雇用先確保も重要な課題ではあるが、市内景況感を刺激するためにも大胆な企業誘致策などをぜひ検討していただき、打ち手を実行に移して頂きたい。(補助金、税制優遇政策、特区等も含めて)
- 「やや悪くなっている」は、特にいわき市小名浜工場群稼働縮小による資材需要減少傾向に起因している。
- いわき市だけガソリン価格が近県より10円近く高い。何故でしょうか？いわきは車社会。ガソリン代の高騰も景気に大きな影響を与えている。
- 駅前の商店街の閉店が年々増えている。
- 日中、街を歩く人がほんとうに少なくなってしまった。

### **(景況感の悪化・将来不安)**

- 上場企業の決算発表が過去最高益と日経平均の最高値の更新と世界の情勢、ビジネスモデルがついていけない感覚になっている。
- 相変わらず景気が悪い。
- 時期的な要素が強い業界なので春から夏にかけて売上が伸びない。
- 自分達はどうなるのか、先行きが見通せない。

## - いわき市景気ウォッチャー調査の概要 -

### (1) 調査の目的

市内の家計動向関連、企業動向関連、雇用関連の事業所等で働く市民の方々を対象にアンケートを実施することにより、いわきの街角景気及びその変化を迅速かつ的確に把握する。

### (2) 調査客体及び有効回答率

家計動向関連80人、企業動向関連22人、雇用関連10人の合計112人を調査客体とする。今回（令和8年5月）の調査の回答数は69人（有効回答率61.6%）である。

分野	調査客体	構成比	有効回答数	業種
家計動向関連	80人	71%	52人	
小売関連	35人	31%	26人	小売店、スーパー、コンビニ等
飲食関連	11人	10%	6人	居酒屋、ファーストフード等
サービス関連	24人	21%	12人	タクシー、ホテル、観光施設等
住宅関連	10人	9%	8人	工務店、不動産販売・仲介・賃貸等
企業動向関連	22人	20%	10人	広告、ビル管理、警備、会計等
雇用関連	10人	9%	7人	人材派遣、職業紹介等
合計	112人	100%	69人	

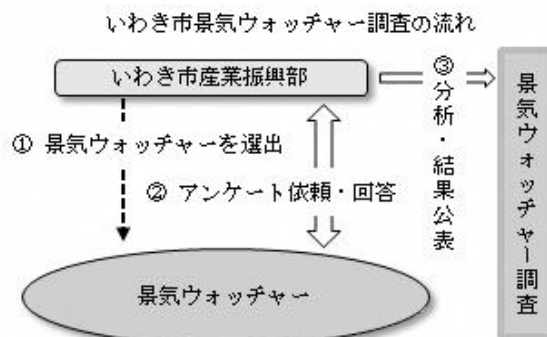
### (3) 調査客体

次の事項について、毎年2月、5月、8月、11月に調査を実施する。

- 1) 景気の現状に対する判断（方向性）とその理由
- 2) 景気の先行きに対する判断（方向性）とその理由

### (4) 調査方法

いわき市産業チャレンジ課において景気ウォッチャーを任命し、調査を実施する。調査票の配付・回収・結果の分析は産業チャレンジ課と外部調査機関（株式会社システムランニング）が協力して行う。調査結果は、産業チャレンジ課が原則として調査の翌月に公表する。



### (5) D I の算出方法と見方

景気の現状や先行きに対する判断を次の5段階に区分し、各回答区分の構成比（%）に対して、対応する点数を乗じることによりD Iを算出する。

D Iは50が景気判断の分かれ目であり、50を上回れば景気の拡大局面、50を下回れば後退局面と判断する。

回答区分	現状判断 (3ヵ月前と比較)	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
	先行き判断 (3ヵ月後の見通し)	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
点数		1	0.75	0.5	0.25	0

(6) 景気ウォッチャー調査票

調査票は、原則としてFAXまたはメールにより配付・収集を行う。

<b>いわき市景気ウォッチャー調査票（令和 年度第 回）</b>	
令和 年 月 日	
ご回答者	
ご所属・お名前 _____ 様	
あなたの身の回りの景気（仕事の状況や、仕事を通じて接するお客様の様子）についてご回答ください。	
<b>該当項目を1つだけ選択し、番号に○をしてください。例：① 良くなっている。</b>	
<b>【質問1】</b> 今月の景気は3ヵ月前と比べて、良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか？ 1つお答えください。	1 良くなっている 2 やや良くなっている 3 変わらない 4 やや悪くなっている 5 悪くなっている
<b>【質問2】</b> 質問1のご回答理由では、どのような点に最も着目しましたか？ 1つお答えください。	1 来客数の動き 2 販売量の動き 3 単価の動き 4 お客様の様子 5 競争相手の様子 6 それ以外
<b>【質問3】</b> あなたの仕事の状況やお客様の様子からみて、2～3ヵ月先は、今より良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか？ 1つお答えください。	1 良くなる 2 やや良くなる 3 変わらない 4 やや悪くなる 5 悪くなる
<b>【質問4】</b> 質問3のご回答理由では、どのような点に最も着目しましたか？ 1つお答えください。	1 来客数の動き 2 販売量の動き 3 単価の動き 4 お客様の様子 5 競争相手の様子 6 それ以外
<b>【自由回答（市内景気動向に関して）】</b>   	

※質問2、4について、上記は家計動向関係向けの選択肢の内容。  
 企業動向関係、雇用関係向けの選択肢の内容は次の通り。

企業動向関係

- 1 受注量や販売量の動き
- 2 受注価格や販売価格の動き
- 3 取引先の様子
- 4 競争相手の様子
- 5 それ以外

雇用関係

- 1 求人数の動き
- 2 求職者数の動き
- 3 採用者の動き
- 4 周辺企業の動き
- 5 それ以外



---

編集・発行 いわき市 産業振興部 産業チャレンジ課  
〒970-8686 いわき市平字梅本 21 番地  
電 話 0 2 4 6 - 2 2 - 7 4 7 6 (直通)  
e-mail : sangyochallenge@city.iwaki.lg.jp

---